

■「学科試験対策講座(専門知識コース)」の授業カリキュラム

	単元	主な講義内容
第1講	地上・海上気象観測	各観測(気圧・気温・湿度・降水量・大気現象・雲・天気・風・日射量・日照時間・視程)
第2講		アメダス・観測データの統計・海上気象観測
第3講	気象衛星観測	静止衛星観測と極軌道衛星 気象衛星「ひまわり」 可視画像・赤外画像を利用した雲型の判別
第4講		水蒸気画像 3.9 μ m画像 差分画像 特徴的な雲パターン 低軌道衛星やGPS衛星による観測
第5講	気象レーダー観測	気象レーダーのしくみ 電波の特性 レーダーの利用上の注意点 解析雨量 気象ドップラーレーダー
第6講	高層気象観測	ラジオゾンデ観測 航空機自動観測 高層天気図 ウィンドプロファイラ観測と資料の見方
第7講	数値予報	数値予報とは何か 数値予報モデルとは何か
第8講		数値予報の流れ 気象庁が運用する主な数値予報モデル
第9講		客観解析(データ同化) 数値予報モデルで使用する基礎方程式
第10講		物理過程とパラメタリゼーション 非静力学モデル
第11講		数値予報プロダクト(GPV・予想図) 渦度
第12講		鉛直p速度 発散と収束 数値予報の利用上の注意点
第13講	気圧配置	高気圧と気団 前線
第14講		温帯低気圧の発達と上層トラフとの関係
第15講		ジェット気流 寒冷低気圧 梅雨
第16講		冬型の気圧配置(山雪型・里雪型・JPCZ) 地表付近での風
第17講		山岳波 おろし風 激しい突風(竜巻・ダウンバースト)
第18講	短期予報・中期予報	予想天気図 予報区 天気予報等で使用される用語 府県天気予報 府県週間天気予報
第19講	アンサンブル予報	アンサンブル予報の概要と利用上の注意点 気象庁が発表する長期予報
第20講	長期予報	長期予報資料(天気図・東西指数・外向き長波放射量) ブロッキング テレコネクション
第21講	ガイダンス 降水短時間予報	ガイダンスの概要と利用上の注意点 降水確率予報 降水短時間予報・降水ナウキャスト・高解像度降水ナウキャスト
第22講	予報精度の評価	カテゴリー予報の評価 量的予報の評価 確率予報の評価 予報利用による経済効果
第23講	気象災害	各気象現象による災害(雨・雪・風・雷・突風・降雹・高波・高潮・着氷・低温・乾燥・霜・霧) 塩害 冷害
第24講	防災気象情報	注意報・警報・特別警報 土壌雨量指数 流域雨量指数 土砂災害警戒情報 指定河川洪水予報 水防警報 気象情報 海上予報・海上警報 台風予報 ナウキャスト(竜巻発生確度・雷)
総授業時間:約50時間(約2時間×24回)		

・1講分あたりの標準的な授業時間は約2時間ですが、多少の違いがあります。



藤田真司の気象予報士塾